

事業名	どこでもバスブック出雲の制作、発行事業
実施主体	まちかど研究室
県担当課	交通対策課

事業の成果

事業の目的 [交通対策]

- 出雲圏域の、バスを主とした公共交通路線、一畑バス、平田生活バス、福祉バス、一畑電鉄などの異なる事業主体の情報を一つにまとめることで、市民、観光客に対して、出雲圏域の公共交通を活用して不自由なく移動することができるツールを提供するとともに、公共交通を使った旅の楽しみ方について情報発信する。

事業の内容

- 各バス事業者より、路線、時刻情報について提供してもらい、一定のフォーマットに沿って、デザイン、編集を行い、「どこでもバスブック出雲版」として制作、発行した。



目的の達成状況 [概ね達成できた]

- 一畑バスやサノオ観光、生活バスなど、全てのバス、電車の情報を調査し、合併後の交通網の状況を把握できる冊子を作成することは達成できた。

反省点・改善点

- 冊子の作成などに関しては概ね良かったが、その後の流通に関して、想定していた出雲市駅キオスクでの販売や、市役所市民課からの配布などが行うことができず、十分な情報提供をまだ行えていない。

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施した]

- 時刻の改訂や路線などの情報提供の面で支えていただいた。

県との協働効果 [概ね効果があった]

- 当初から、流通の面も含め、お互いで協力できれば良かった。
- 「協働」という事業内容を少し履き違えていたところもあった。もっとこちらから相談すれば良かった。

県への要望事項

- こちら側として認識不足の面があり申し訳ない部分が多いが、「協働」の意味、定義をもう少し明確にして欲しかった。

反省点・改善点

- もっと良い意味で県側を利用すれば良かったと思う。

市町村との協働 [協働して実施した]

- 出雲市の方に、同じ情報提供の面で協力していただいた。

事業の継続

事業成果の活用 [活用されている]

- 昨年作成しましたが、かなり流通に関して詰めが甘い部分があったので、今も継続して販売経路や、置かせていただけるところを拡大中である。

事業の継続状況 [助成を受けずに継続実施している]

- 継続をする為、方法を模索中である。
- 市での買取りや広告等を検討中である。

協働による発展 [協働により発展できる]

公共交通に関する事業ということで、市や県の方での永続的な支援があれば、継続していくことは可能だと思う。

